

運輸の安全に関する基本方針

『輸送の安全はわが社の根幹』

『安全は最大の顧客満足』

《基本姿勢》

- ◎経営トップが、輸送の安全は事業経営の根幹であることを深く認識し、全社員に対しその意識が浸透するよう積極的に主導していく。
- ◎私たちは「輸送の安全が最大の顧客満足」であると認識の下、物流事業の社会的使命及び輸送の安全確保の重要性を深く認識し、社員一丸となって輸送の安全に対する取組みを推進していく。

《行動指針》

- ◎運輸安全マネジメント体制の確立と、PDCAサイクルに基づく継続的改善の推進及び全従業員への周知徹底とその意識向上に努める。
- ◎年度品質目標に重点施策を設定すると共に、法令を遵守する。
- ◎荷主に対し、当社の最大のセールスポイントである「輸送の安全確保」を共有することにより、安全が第一であるという認識に理解と協力を得る。

平成29年5月1日
九州商運株式会社
代表取締役 中川 寛茂

輸送の安全に関する目標

◎ 追突・逆突事故

◎ 労働災害事故

◎ 人身交通事故

◎ 商品破損事故

◎ 飲酒・酒気帯び運転

0件

前年比50%削減

撲滅

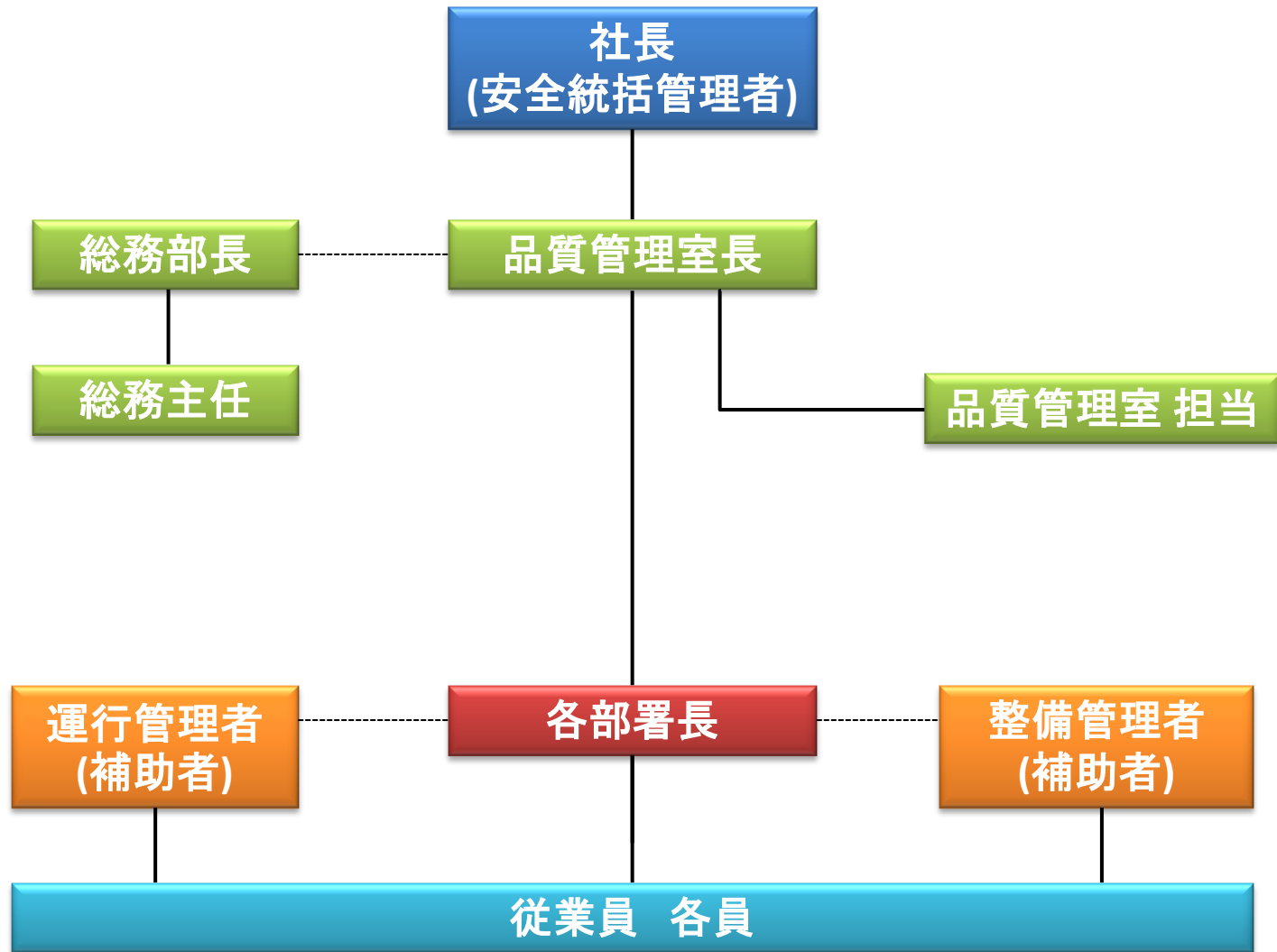
輸送の安全に関する重点施策

- ▼ 車間距離(乗用車の1.5~2倍)の確保
- ▼ 危険度の低い箇所への注意(90:10の法則)
- ▼ バック時の窓開けと目視確認
- ▼ 乗車前の車両一回り確認
- ▼ ウィンカー5回点滅後に車線変更

輸送の安全に関する計画

- 点呼時のアルコールチェッカー使用 (毎点呼時)
- デジタルタコグラフを活用したドライバーへの安全運転教育 (随時)
- 過去の事例(前年同月)等に基づいたKYTの実施 (毎月)
- トラック協会の安全運転重点目標に基づいた安全指導 (毎月)
- 交通安全週間の期間に安全運転推進運動を実施 (年4回)
- ドライバー会議時の安全運行ビデオ研修 (年2回)
- 省エネ研修会の開催 (10月予定)

運輸安全マネジメント組織図



事故・災害等連絡体制図

